

武家文化とものづくり文化を 観て体験する観光地

近世武家文化を象徴する名古屋城には、天守閣に金の鯱がそびえることで有名。また、ものづくりの歴史の地であることから、ものづくり文化を紹介した施設も多い。中部観光の拠点として、名古屋市には延べ68万人の外国人が宿泊。

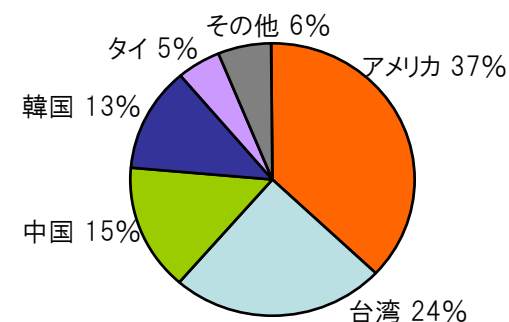


名古屋城を散策する外国人

外国人宿泊延数

名古屋市観光推進室調べ

平成14年度(2002)	55万人
平成15年度(2003)	42万人
平成16年度(2004)	53万人
平成17年度(2005)	67万人
平成18年度(2006)	68万人



魅力

歴史・文化

体験・イベント

まちめぐり・まち景観

楽しく産業観光ができる街

「産業技術記念館」は、繊維と自動車のものづくりの変遷を紹介した施設。大正時代当時の柱や梁、煉瓦をそのまま使用した紡績工場を再現し、糸の紡ぎや布織りが見学できるほか、自動車の製造工程、製造技術の過去と現在の比較、技術開発の取り組みなどを実物で紹介している。また、16カ国語のリーフレットや英語・中国語・韓国語の音声ガイドを備え、外国人観光客の疑問にも対応。

また「ハタケの森」では、約100年前から製造を始めた食器づくりを紹介。当時の食器の紹介だけでなく、製造工程が見学でき、また自ら絵付けも体験もできる。英語、中国語及び韓国語の音声ガイドも完備。



産業技術記念館



ハタケの森

武家文化と名古屋の象徴

1612年に築城された「名古屋城」。戦時中に焼失したが1959年に再建。金の鯱は城内にもレプリカがあり、並んで記念撮影が可能。桜をはじめとする城内の庭園も美しい。

都会の中の静寂、熱田神宮

三種の神器のひとつ「草薙神剣(くさなぎのみつるぎ)」を御神体とする熱田神宮は、古来「蓬莱島」の名で知られる。中国からの観光客が多く訪れ、欧米にも広く紹介されている。



熱田神宮を取材中の欧米報道機関

取組

案内・情報提供

体験・イベント開催

交通アクセス



金色に輝くなごや観光ルートバス「メーグル」

なごや観光ルートバスの多言語対応

名古屋城、産業観光施設、徳川美術館等を周遊するなごや観光ルートバス「メーグル」。車内において多言語対応[英、中(簡・繁)、韓]。(放送・停留所名表示・パンフレットなど)

世界コスプレサミット

「アニメ文化発信による交流促進事業」として2003年に名古屋でスタートした世界コスプレサミットは、2007年は世界12カ国から参加があり、各国の予選大会を勝ち抜いた各国代表による世界No.1を決定するチャンピオンシップが開催された。



各国代表の皆さん

名古屋市観光推進室／(財)名古屋観光コンベンションビューロー
TEL:052-972-2425/052-202-1143 URL:http://www.ncvb.or.jp